

松友

発行

二松学舎大学附属高等学校
松友編集委員会

〒102-0074
東京都千代田区九段南2-1-32
電話：03-3261-9288
FAX：03-3261-9280
<http://shoyukai.p2.bindsite.jp/>

校長先生ご挨拶



名誉会長(校長) 鶴飼 敦之

長らく私たちの生活に影響を与えてきた感染症が、昨年5月に5

類感染症へと移行し、生徒たちはようやく本来の学校生活を取り戻しました。校内には、生徒たちのエネルギーが溢れ、これまで抑えられていた力を解き放つような活気を感じる日々です。

体育大会、二松祭、球技大会といった行事では、それぞれのテーマに基づき、生徒たちが創意工夫を凝らしながら全力で取り組む姿が印象的でした。クラスが丸となって一つの目標に向かう中で、新たな仲間の一面を発見したり、互いに思いやる気持ちを育んだり

する様子が見られました。また、協力し合いながら人間関係を築いていくことの大切さに気付いたことでしょう。

部活動では夏季合宿を実施した部も多く、団体の生活を通じて技術力の向上だけでなく、チームワークを深める貴重な機会となりました。その成果は各大会や試合で発揮され、目標を達成した部やさらなる高みを目指す部もありました。中でも野球部は東京都秋季大会で早稲田実業学校との激闘を延長12回タイブレークの末にサヨナラ勝利を収めました。神宮球場には全校生徒や同窓の皆様も応援に駆けつけていただき、勝利のあとにスタンドで校歌を歌い、オール二松に酔いしれる瞬間でした。野球部は、第97回選抜高等学校野球大会への出場を果たし、全国制覇の目標を掲げ、さらに飛躍して

会長ご挨拶



会長 大林 一夫 (35期)

二松学舎大学附属高等学校・同窓会(松友会) 会長(35期)の大林でございます。

日頃より松友会の活動並びに運営にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

月日が過ぎるのは早いもので、会長職をお受けしてから早4年が過ぎました。

この3年間で思い深い事としては、本格的に開催出来ました二松祭開催です。この数年はコロナ感染等の影響で自粛となり生徒たちには楽しい思い出の経験をさせてあげることができませんでした。今年には各学年クラスの出し物に参加させて頂き生徒皆さんの笑顔を見ることが出来ました。また近年はダンス部の全国大会での活躍や、野球部の甲子園出場春8回、夏5回の甲子園常連校となり双方共に東京の強豪校となりました。

た。今後も母校の後輩たちの各部署の活動の支援し活躍されることを心から応援したいと思います。

と同時に父母の会会長を3年間お受けした間は観戦皆勤賞。現在は野球部後援会副会長として現在も応援頑張っております。

私の入学時は市原監督(当時エースピッチャー)が春の選抜高校野球にて見事に準優勝に輝いた年でした。在校中も地区予選にて準優勝(同級生の元千葉ロッテ初芝さん)で甲子園に手が届かず…。

在校中以降も現在に至るまで二松学舎の野球が好きで(もちろん学校も)170試合以上観戦しております。特に長女が附属高校に入学(鈴木誠也さんと同年代)を機に熱が上がり、次女が附属高校入学(大江竜聖さんと同級生でした)

松友会会員の皆様のご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

期別幹事会

日時 2025年6月7日(土) 14時

場所 附属高等学校

※総会議案を審議致しますので、各期の期別幹事の皆様はご出席下さい。

定時総会

日時 2025年6月7日(土) 15時

場所 附属高等学校

懇親会

日時 2025年6月7日(土) 16時

場所 二松学舎大学
13階ラウンジ

会費 無料

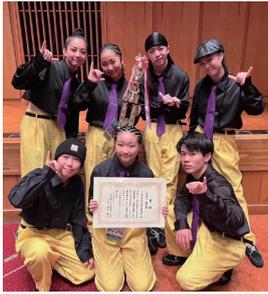
※詳細は、松友会ホームページをご覧ください。

ダンス部報告

私たちダンス部は全国優勝するために日々練習し、北九州で行われた【全日本高等学校チームダンス選手権決勝大会】に出場しました。

2チーム出場し、小編成のButterfly effectは全国4位という結果を残すことが出来ました。素晴らしい結果を収めることができ、とても嬉しく思います。

日ごろから私たちがのために支援して頂き本当にありがとうございます。これからも部員一丸となつて邁進してまいります。今後ともよろしくお願ひします。



期別幹事会・総会報告

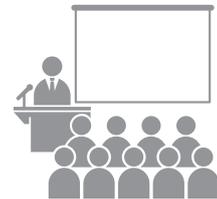
松友会の期別幹事会及び総会は、2024年6月8日(土)、附属高校の6階図書室で開催されました。

まず、2023年度の事業報告及び決算が了承されました。その後、2024年度の事業計画及び

予算が承認されました。皆様のご協力、ありがとうございます。コロナウィルス対策のため開催できませんでしたが、2024年度の総会後の懇親会は対面で行うことができました。

同窓会(松友会)にご意見・ご

相談がある場合は、遠慮なく、卒業生教員(末木・市原・戸張・野木・車田・立野・麻生)にお申し出ください。



2023年度 松友会収支決算報告 (2023年4月1日～2024年3月31日) (単位:円)

科目	予算額	決算額	差額	摘要
前年度繰越金	5,706,276	5,706,276	0	
2023年度卒業生入会金	795,000	792,000	-3,000	3,000円×実卒業生数264人
2023年度卒業生年会費	2,650,000	2,640,000	-10,000	10,000円×実卒業生数264人
卒業生年会費	0	0	0	終身会費のため、徴収せず
受取利息	30	35	5	
その他	0	200	200	
合計	9,151,306	9,138,511	-12,795	

科目	予算額	決算額	差額	摘要
学園祭支援金	100,000	100,000	0	二松学舎祭支援
生徒会支援金	300,000	69,586	230,414	部活動支援(理数科研究部)
修学援助金	200,000	200,000	0	別口座に積立再開
教育活動支援金	600,000	600,000	0	別口座に周年事業費として積み立て(前年度の積立忘れの合算金額)
卒業記念品費	350,000	311,520	38,480	新卒業生への記念品代
同期会通信費	100,000	0	100,000	同期会開催への補助(卒業生住所ラベル)
『松友』作成費	100,000	66,000	34,000	『松友』作成(データ納品)
事務費	100,000	36,806	63,194	
郵送費	20,000	0	20,000	
振込手数料	10,000	7,260	2,740	
交際費	50,000	0	50,000	慶弔費を含む
旅費・交通費	50,000	17,260	32,740	ただし、前年度、240円を父母会の会計から立て替えてもらっており、その返金を含む
松友会基金	350,000	276,996	73,004	総会後の懇親会補助・ホームカミングデー補助・HP運営経費
業者委託費	300,000	151,800	148,200	(株)瀬味証券印刷
予備費	1,100,000	250,000	850,000	部活動の全国大会出場等に対応 (ダンス部)
次年度繰越金	5,421,306	7,051,283	-1,629,977	
合計	9,151,306	9,138,511	12,795	

<2023年度末残高(次年度繰越金内訳)>(郵便振替)0円+(普通預金)6,950,261円+(手許現金)101,022円=7,051,283円

同窓会報告 『3回目の同窓会』

2024年6月1日に第31期の同窓会が如水会館で開催されました。松友会に報告いただきました。

還暦を迎えられた年に開催を予定されていたようですが、「新型コロナウイルス感染」の影響で断念され、今回の開催となりました。写真からも多くの皆さんが集まっています。とても楽しい時間を過ごされたようですね。

〈松友会からのお願い〉
卒業生の皆様で同窓会を実施された際には、事務局までご連絡いただけますよう、よろしくお願ひします。



前半組

氏名	ふりがな	教科
齊藤 主税	さいとうちから	地歴公民 (歴史希望)
森田 游紀	もりたゆうき	地歴のみ (歴史希望)
河合ルナ	かわいるな	国語 (現文希望)
今井 優貴	いまいゆうき	国語
山口 慎之介	やまぐちしんのすけ	理科 (生物希望)
富田 柚希美	とみやゆきみ	国語 (現文希望)
中分 斗基	なかぶんとき	保健体育
谷口 陽月	たにぐちひづき	地理歴史 (歴史希望)

教育実習前期 2024年5月20日(月)～6月8日(土) …3週間

後半組

氏名	ふりがな	教科
府川 楓	ふかわかえで	国語
西村 礼美	にしむられみ	国語 (古典希望)
拝原 優花	はいばらゆうか	国語 (現文希望)
橋詰 心汰朗	はしづめしんたろう	国語
木村 愛海	きむらまなみ	理科 (化学希望)

教育実習後期 2024年9月2日(月)～9月21日(土) …3週間

2024年度の
教育実習生を紹介します

2024・二松学舎祭開催

生徒会長として最後の二松学舎祭。今年度の文化祭は飲食、一般の来客が可能となり、今までとは異なった形での開催となりました。そのため、どのように運営すればいいのか悩むことが多くありました。しかし、自分たちが今まででなかったような二松学舎祭の形を作ることができ、この期間はとても充実感に溢れていました。準備期間は本当に実行委員に助けられました。実行委員たちの造像力溢れる企画や目を惹きつけさせるような装飾は、生徒会だけでは実現しえなかったものだと思います。二松学舎祭が迫る中、私一人で突っ走ってしまい、迷惑をかけた時もありました。そんな中でも、先生や生徒会、実行委員のサポートのおかげで、最高の形で二松学舎祭を成功させることができました。

この二松学舎祭を通して、特に仲間と助け合うことの大切さを知りました。そして、来年からもチームワーク溢れる最高の二松学舎祭になることを楽しみにしています。



松友会主催

「二松クリアファイル」 デザインコンテスト



写真：左 國井さん、右 柿沼さん

2024年度も生徒たちからも評判の良いクリアファイルのデザインを在校生から募集しました。多くの応募作品の中から、厳正な審査を経て、下記のデザインを選考しました。

最優秀賞に選ばれたクリアファイルは、在校生に配布すると共に期別幹事会、総会等で配布する予定です。



1年F組 國井さん

この度は、私が描いた絵を選んで頂きありがとうございます。この絵を描く上で自分は二松学舎が大切にしている事は何かを考えました。私は日本独自の魅力を大切にする事だと思いました。背景には、二松学舎の象徴である二本の松を日本らしく筆ペンで表現し、中心のネコ松と共に希望に満ち溢れた表情で前を向いている女の子は、この高校を志す中学生にこの子と同じ様に、前向きで明るく二松学舎に来てほしいという思いを込めて描きました。左にある二松学舎という文字は、野球部のユニフォームをモチーフにして、漢字らしく縦書きで書きました。右上の英語で書かれた文字は、日本の文化を大切にしつつ、外国のものも取り入れるという二松学舎の考え方から来たものです。このクリアファイルを大切に使って頂けたら嬉しいです。



3年B組 柿沼さん

このイラストは、私たち二松生の明るく元気なイメージを表現したく、高校説明会で中学生に配られた時に、ただで楽しい雰囲気が伝わるように描きました。今までのデザインとは違った、新しい構図に挑戦したく、夏服を着た男女と公式キャラクターの「ねこ松」が空に向かってジャンプし、後ろから太陽の光が差しているデザインにしてみました。空の青色を強調することで、「平和」や校訓にもある「誠実」などのイメージを連想することができます。



恩師から卒業生へメッセージ

多くの卒業生から「あの先生はお元気でですか？」などのご意見をいただいております。今回は、令和6年度に3学年を担当しておられました担任の先生方に、卒業生へメッセージを頂きました。



A組 齋藤 真一(数学科)

卒業生の皆さんお元気ですか？
2007年4月から二松学舎に勤めて、今度の春で19年目を迎えます。その間、62期末木学年、65期館野学年、68期末木学年、71期木村学年、そして75期は学年主任として卒業生を送り出しました。首尾よくいけば、あと19年は勤めていますので、引き続き皆さんの活躍を九段下でお祈りしております。

B組 千葉 儀胤(地歴公民科)

第75期の皆さん、ご卒業おめでとうございます。本校での三年間は皆さんにとって充実したものになったでしょうか。二松学舎大学附属高等学校は「アットホームな学校」です。これからも、家族として皆さんの活躍を教職員一同応援しています。

C組 松澤 龍(国語科)

卒業生の皆さん、高校を巣立ってからしばらく経ちましたが新しい生活はいかがでしたでしょうか。3年間で培った「豊かな表現」をもとに沢山チャレンジしてください！気が向いたら高校にも遊びに来てください。皆さんの活躍をお祈りしています。

D組 横関 彩子(英語科)

ご卒業おめでとうございます。みなさんの幸せな人生を心から願っています。

大好きなオーダーリーハップバーンの言葉を送ります。「不可能なことなんてない。Impossibleという言葉自体に、in possibleと書いてあるから！」

E組 浅見 柾晶(理科)

第75期生のみなさん卒業おめでとうございます。これから様々な場所で活躍する姿を楽しみにしています。頑張ってくださいね。これまでの卒業生のみなさま、どこかでの75期生に会いましたら、同窓の後輩にお力添え頂ければ幸いです。

F組 古館 美穂(英語科)

新生活は順調にスタートできているでしょうか。今いる場所は、夢や目標を持つて進んだ道。それを忘れることなく、前に進んでいきましょう。そして、生涯にわたって付き合っていく仲間を見つけてください。

編集後記

松友28号が無事発行され、寄稿いただきました皆様にご挨拶申し上げます。

役員会で年に数回ですが母校である高校に伺っています、先日校内に第75期という文字を見て、私が卒業して約25年も経ってしまったのかと時の流れをしみじみ感じました。
高校生としての在学期間の3年の何倍もの期間を同窓会という違った形で母校に貢献できることは、嬉しく思っています。(紺)

計報

赤岡先生

本校元教諭 赤岡岱(数学科)、令和六年七月十九日に八十四歳でご逝去されました。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

